

週報

こひつじ

第41巻 14号
 大津キリスト教会
 菊池郡大津町室 119
 TEL 096-293-4470
 FAX 096-293-4961
 牧師 米村 英二

新しい戒めとしての愛

あなたがたに新しい戒めを与えましょう。あなたがたは互いに愛し合いなさい。わたしがあなたがたを愛したように、そのように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。(ヨハネ 一三の三四)

その一 愛の訳語は「御大切」

あなたがたに新しい戒めを与えましょう。あなたがたは互いに愛し合いなさい。わたしがあなたがたを愛したように、そのように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。(ヨハネ 一三の三四)

イエスは、この言葉を最期の晩餐のすぐ前、あの偉大な「犠牲の」の前後に語られた。

互いに愛し合うことは、いわばイエスの遺言である。したがって、愛は、クリスチャンである私たちの大きなテーマでなければならぬだろう。

辞書には、親兄弟のいつくしみ合う心、男女間の愛情、かわいがること、好むこと、また仏教的には愛欲、愛着、強い欲望、迷いの

根源、というようなことが書かれている。

人であれ、物であれ、あまりにそれが好きで、それに夢中になつて、自分を失ってしまう。そういうことも愛の範疇に入っている。

愛が、以上のようなものであるなら、愛とはきわめて利己的な感情である。

しかし聖書の「愛」は、それとは違う。

結局、日本語の辞書に、愛について、もう一つの意味が加えられたのは、明治になって、キリスト教が入ってきてからで、それについて、こう書かれている。

「愛とは、キリスト教で、神が自らを犠牲にして、人間をあまねく限りなくいつくしむこと」

したがって、聖書の「愛」を日本語に置き換えることは、決して簡単ではなかった。

事実、英語の「love」を、どう日本語に訳するかで、聖書の翻訳者たちは苦労したのである。

愛は漢語である。ところが大和言葉には、それに通じる言葉がない。そのこともあって、愛という言葉は、今でも、日本語としてしっくりこないところがあると言われている。

愛は、書き言葉としてはあるが、日常生活の会話で用いられることは少ないのではないか。

親子や夫婦の間でも、「君のことを愛してるよ」と言うことはまれである。まして他人に向かって、「あなたを愛してますよ」と言ったら、びっくりされるだろう。

しかし、イエスはこの愛に、さ

らに今までは異なる意味を加えて、それを新しい戒めとして弟子たちに与えられたのである。

それは、かつて多くの人たちが思っていた愛とは違い、全く新しい性質をもった愛だった。そしてその愛こそが、イエスの死後に起こった教会を動かす原動力となったのである。(続)

今日の礼拝

○第一礼拝は午前一〇時から、
第二礼拝は午前一一時から。

○教会学校は午前一〇時から。

○説教は西岡潤也さん。

先週の礼拝

○司会は岩崎宏志さん。

説教は、

「わたしがあなたがたを愛したように、そのように、あなたがたも互いに愛し合いなさい」(ヨハネ 一三の三四)

の言葉から、では、イエスは、
どのように愛してくださったか

について語りました。

○礼拝参加者は、第一礼拝が五
三名、第二が三名。合計八六名
(男二八、女五八)。それに子ど

もが七名、合わせて九三名でした。

長老会報告

礼拝後、牧師館居間で長老会が開かれました。出席者は、本田夫妻、吉岡夫妻、岩崎夫妻、米村夫妻、以上八名。

議題は、

一、墓地補修工事の状況。

四月一〇日頃には完成予定。

二、礼拝。

今後、毎月一回は合同礼拝をする。開始時間は午前一〇時半。

三、伝道会。

コーヒータムやプレイズなどは、もう少し様子を見る。

次週は召天者記念礼拝

四月二〇日(日)は召天者記念礼拝です。午前一〇時半から。

合同礼拝ですので、第二礼拝に
来られていた方は、少し早めにお

いでください。

それから教会墓地を、熊本地震で傷んだところもありましたので補修しました。きれいになった墓地で、礼拝のあと、追悼式をいたします。

追悼式は午前一二時から。

今年もともに集まって、懐かしい方がたを偲ぶとともに、やがて私たちも天国へゆき、それらがたとお会いできるのだという希望を新たにしたいものだと思います。

牧師身辺

ぼくは現在七九歳、一二月になるといよいよ八〇歳の大台に乗ることになります。

週報を書いたり、説教を作ったり、次の本製作の準備をしたりすることは、まだ苦になりません。

むしろ喜びであると言ったほうが
よいかもしれません。

ぼくに代わって時々説教してくださっている若い方がたの成長を願いつつ、今しばらくは、この生活が続くことになるでしょう。

読書は今も自分の生活の一部です。聖書に関しては福音書を主に読んでいます。そこにはイエス自身の言葉が記されているからです。自分の時間は、もうたくさんはないことを思うと、妙にイエスの言葉にひかれます。フランチエスコがそうであったように、ただイエスの言葉によって生きてみたい。そんな願いをこめて毎日少しずつ読んでいます。

散歩は今も続けています。朝の五時に家を出て、五〇分ほど歩きます。それからシャワーをし、祈り会に備えます。健康について言えば、前立腺肥大という病気を抱えていますので、月に一度クリニックに通い、薬をいただきます。それ以外は、いたって健康です。

牧師のメールアドレス

yonemura@ja2.so-net.ne.jp